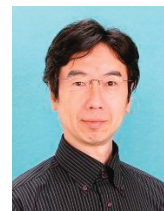


# リノベーションプロジェクト2024 「ふじの荘」DIYリノベーション season02

建築都市工学部  
住居・インテリア学科  
准教授

信濃 康博



## 研究シーズの紹介

昨年度に続く木造2階建て賃貸アパート「ふじの荘」の産学連携プロジェクトシーズン2。学生がリノベーションデザインを行い、学生自らDIY施工を行うというこの困難なプロジェクトに挑戦した2名の学生が目標に掲げたのは「DIYメソッドの確立」と「SOHO活用とシェア利用の2つの暮らしが可能な間取りのリノベーション」である。

築50年の木造2階建てアパートの空き室に入居者を見つけ

るのは大変難しいが、昨年度DIYリノベーションを実施した2住戸には借り手が見ついた。産学連携による「DIYメソッド」が確立すれば、不可能と思われる物件にも借り手が見つくのがわかった。

リノベーションデザイン、材料の選定、見積書の作成、買出し、搬入、DIY施工は困難を極めたが、2名の学生は最後までやり抜き、2024年3月中旬の卒業式前になんとか完成した。



産学連携による  
空き家・空き室を  
再生・活用する技術

- 学生の実践的体験学習の場となる。
- 空室の住戸が学生によるデザインとDIY施工により再生・活用される。

### 「ふじの荘」

住所：福岡市東区若宮5丁目9-33  
竣工：1977年01月 / 築約46年  
構造：木造2階建  
用途：共同住宅  
間取：3DK(約46㎡) 全10戸  
用途地域：第一種低層住居専用地域

### 「ふじの荘」外観



## 期待される活用シーン

● 高経年の木造2階建てアパートの所有オーナーは、借り手のつかない空室に借り手をつけたい。



産学連携により学生の体験学習としてDIYリノベーションを実施し空室の再生・活用につなげる。



● 空室をリノベーションしようとしても、ありきたりのリフォームレベルのデザインになってしまう。



学生の感性を生かしたリノベーションデザインの部屋を学生がDIY施工することで得ることができる。

